

COOP

京都の生協

CONTENTS

21世紀にはばたく京都の生協

ネットワークNOW----- 2

●京都府総合見本市会館専務理事

南 恵美子さん

●京都府生活協同組合連合会副会長理事

京都生協理事長

末川千穂子さん

●46万の署名国会に送達----- 7

●京都府生協連21世紀ビジョン 10

●組合員とともに----- 12

◆最新の眼科医療をめざして

◆大学の期待にこたえて

●TOPICS----- 14

◆食料・農林漁業・環境フォーラム開かれる

◆京都の菓子業界と懇談

◆マスコミ関係者と懇談

◆JA女性協、京都府生協連女性役職員懇談

●探訪 京都材木加工センター----- 16

京都府漁連ホームページ開設

2001 APRIL NO

42

発行 ●京都府生活協同組合連合会

〒604-0851 京都市中京区烏丸丸太町東南角 せいきょう会館2F

TEL.075-251-1551 FAX.075-251-1555

ホームページURL: http://ha2.seikyoei.ne.jp/home/Kyotofu_Seikyoren/

メールアドレス: Kyotofu_Seikyoren@ma2.seikyoei.ne.jp

「食品の安全を確保するための請願署名」

454,120筆を国会へ送る
署名送達式

2001. 6

ネットワーク
NOW
京都府民の
願いをあつめ

「食品の安全を確保するための請願署名」国会へ送る

近年、食品添加物や農薬・動物医薬品の残留問題に加え、ダイオキシン、環境ホルモンなどの新たな問題や遺伝子組み換え食品など科学技術によって生産された食品、食品流通の国際化にともなう輸入食品の増大により食品の安全性に対する不安が高まり、国の食品安全行政が問われています。このような状況の中で、「食品の安全を確保する請願署名」が一昨年来、取り組まれました。全国では1,300万筆を超え、京都府では各協同組合が共同して、府民的运动として広がり465,620筆の署名が寄せられました。

三二世紀
自分らしく生き、輝き、支えあうために

末川千穂子さん

南 恵美子さん

ネットワーク・マガジン
Network!
対談 **Now**

21世紀に
はばたく
京都の生協

環境、教育、福祉、食の安全、どれひとつとっても人びとが手を結び合うことなしには実現しない。カギを握るのはさまざまな形態の「地域社会」であり、自立した市民。一人ひとりが自分らしく生き、男女がともに支えあう暮らしと社会をつくるために、京都の生協として何が求められているのか。今回は行政経験の長い南さんに、働く女性や組合員など、さまざまな角度からお話を伺った。

二一世紀は「協同の時代」へ

末川 きょうは二一世紀に入
って初めての対談ですので、
働く女性の先陣を切ってこら
れた南さんに、新しい時代の
新しい「協同のあり方」に対
する展望やご意見を伺えたら
と思います。

南 私も生協の組合員なので
よく利用させていただいてお
ります。

末川 ありがとうございます
(笑)。南さんは、京都府の消
費生活相談所や商工部で長ら
く重要な職務に就いてこれ、
生協はいろいろお世話になっ
てきました。

南 私は大学入学が昭和三一
年ですから、高度経済成長や
不況、オイルショックなどを
身をもって経験した世代です。
昭和の歴史の約半分を体験し、
また、働く女性として、先輩
方の築かれたものを受け継ぎ、
次代へ手渡していくのが仕事
だと思っています。とくに、地方
自治体に働く女性として、子
育てやくらしの中で府民の
方々の生の声を聞き、これを
仕事に生かすことができます。
これまで働き続けてきました。

かといえ働く女性よりも主
婦を多く組織してきました。
自分の生活価値を見いだそう
とする主婦が、生協を利用す
るということを通して社会に
向かって発信する場という役
割も果たしてきました。「食の安
全・安心」を求める活動を通
じて、社会全体の基準をかせ
いでいく場にもなってきたと自
負しています。

南 たしかに、生協は食べ物
の安全以外の「効用」も大き
いですね(笑)。私の母は六七
歳ですが、よく利用する店舗
では、近所の方がパートで働
いておられて、母が行くと
「おばあちゃん、元気？」と気
さくに声をかけてくださるそ
うです。もうそれだけで母は
大喜びですね。それに、「生協」
は若い人たちにも役立ってい
ると思いますよ。私の息子夫
婦は東京で子育て中ですが、
共同購入している同世代の方
たちと子どもの世話をし合っ
て、一人で子育てに悩まずに
助かっているようです。

その意味では、いま大きな
曲がり角にきている福祉的分
野でも、生協に期待したいで

すね。「自助・公助・共助」
の、とくに「共助」の部分で
生協に担っていただける分野
は大きいのではないでしょ
うか。

末川 たとえば京都生協でや
っています、組合員同士で家
事援助をする「くらしの助け
合いの会」の活動を見ている
と、支えあい、助け合う組織
としての、生協の存在意義は
失われていないし、むしろま
すます高まっていると思いま

子どもは地域のなかで育つもの 多様な経験を通じて、感受性豊かな子どもに育てたい

末川 南さんは働きながら二
人のお子さんを育ててこれ
ました。最近の社会全体が子
育てや教育の問題に揺れてい
る状況を、どうごらんになっ
ていますか。

南 私は、「人間としてやつ
ていいことと悪いことさえ教
えれば、あとは元気に育てば
いい」ぐらいに思っていました。
た。そのツケが子どもの大学
受験のときに来て、困りまし
た(笑)。でも、人間とし
て基本的なことはまず親がし
っかり教えないといけない
し、その意味でも家庭教育は

すね。この会では、七〇歳を
超えていつ援助されるほうへ
回ってもおかしくない人が、
病気で入院中の七〇歳以上の
組合員さんのところへ週一度
お届けものをし、話し相手を
して、二時間で帰ってくる
という活動をおこなっていま
す。そうすると、来てもらう
方も助かりますが、援助なさ
る方もやりがいと喜びと元氣
を受け取って、お互いにとて
も元氣が出てくるそうです。

これは、人や地域とむすび
あっている生協だからこそ創
り出せる、新しい「安心のか
たち」ではないかと思っています。
このような「生協らしさ」を
常に創出しながら、その活動
を継続していくためには事業
経営の力もつけないければなら
ない。このことがいま、生協
の大きな課題だと思います。

大切だと思います。

ただ、昨今は子どもの教育
が親の肩にだけかかるのには
つらい時代になりましたね。
昔は、放っておいても近所の
だれかが叱ってくれましたが、
いまはよその子に注意したら
逆に母親にいらまれたりする
のですが、やっぱり子どもは
地域のおとながみんな育て
ていくものだと思いますね。

それに、遊びは子どもの成
長に重要です。遊びのなか
でもっと自由にいろんなこと
を身につけていける教育も大
切ですね。私自身の小さな頃

を考えてみても、覚えてい
るのは遊んだことばかりです。
それに先生とのふれあいも多
くて、私は北海道で生れ育っ
たものですからスズラン狩り
や石炭の発掘現場に連れてい
ってもらいました。子どもた
ちに美しいものを見せたりい
ろいろな経験させて、美しさ
に感動する心や優しさをはぐ
くんでほしいですね。

末川 子どもたちの置かれて
いる状況を考えるとほんとう
につらくありますが、いまお
っしゃったことに加えて、生
協としては「きちんと食べる

こと」を若い親御さんも含めて提起していく必要があるだろうと思っています。その場合も、短絡的に「母親は家にいて、子どもに食べさせるべ

きだ」というのではなく、女性でも男性でも、子どもでも若者でも高齢者でも、自分が何を食べたらいいのか選択できる知識と能力を身につける

ことや、そのための環境整備が大切だと考えています。

できたものを修復できる可能性があるのではないかといいうことですね。

南 それと、「足るを知る」ということも大事です。阪神

人びとのつながりを、「協同」の力で取り戻したい カギは「地域社会の再生」

末川 いずれにせよ、おとな社会が「いい大学を出て、いい会社に入れば一生安泰だ」という価値観で突っ走り、そのしわ寄せが弱い立場の者にきているわけですから、子どもにだけ「ちゃんとしなさい」と言っても説得力はありませんね。

南 そう思います。戦後、私たちはアメリカ映画を通して、冷蔵庫や自動車のある生活を知り、あの豊かさを実現するためにとがんばってきました。

した。でも、それが現実になったいま、何を目標に生きていくのかわからなくなり、世の中が乱れてしまったのです。そういっておとな社会の合せ鏡として、子どもの問題が出てきているわけですから、おとながもつと襟を正さないといけないのではないのでしょうか。

末川 「だれもが自分らしく生きる」ことが尊重されなければならぬし、私は、それができるのは「地域」だと思

います。「地域」とは、私たちが働き暮らしているところであり、国内農業というレベルでいえば日本であり、インターネットを通じて志を同じくする人とながらなのであれば世界かもしれないけれど、そういつたさまざまな「地域」のなかでこそ、人と人とのつながりを回復したり、持続可能な地域環境の維持ができるのではないかと。産直や「助け合いの会」の活動を通じて思

うのは、「協同」という手法のなかにこそ、環境や人間のつながりなど、二〇世紀が壊し

てきたものを修復できる可能性があるのではないかといいうことですね。

南 それと、「足るを知る」ということも大事です。阪神大震災のような大きな災害に遭って初めて、私たちはモノに囲まれた暮らしを自覚したわけですが、シンプルで謙虚な暮らし方をもう一度真剣に考える必要があります。そうしないと地球環境をも破壊しつくしてしまうのではないかと思います。このレンガは下水処理の過程で発生する汚泥を利用して製造されたものです(※注)。これからの時代は資源をむだなく再生利用する時代です。京都府も京都らしい取り組み方をしたいと「新京都府総合計画」で「京都循環型社会システム」づくりを考えておられます。地域全体で取り組む必要がある問題です。で、ぜひ地域とつながりの深い生協のみなさんの活動に期待したいと思います

ネットワーク・ナウ
Network!
対談 **Now**

自分らしく生き、輝き、支えあうために



高齢社会は暗くない 「共助」のみちすじを地域のなかにつくること

末川 これからの時代、福祉の問題は「食の安全」や環境

と並んで、生協の活動領域として重要な柱になると思います

すが、福祉についてはどのようにお考えですか。

す。ぜひ一度「エコ・京レンガ」づくりの見学にも、いらしてくださいね(笑)。

※「エコ・京レンガ」
（地下水道処理公社洛西浄化センターで製造。一個七五円＋消費税、四個組三〇〇円＋消費税で頒布中）



女も男もいきいきと暮らすために

南 先ほど「助け合いの会」の七〇歳の会員さんのお話がありました。が、「高齢者」働けない人、リタイアした人」とか「高齢化社会」暗い、活力がない」ではないと思うんです。生活経験の豊かな高齢者の方々にはその知恵や経験を社会に役立てていただければいいわけです、大切なことは生協の「助け合いの会」のように、地域のなかで活動

できる「共助」の道筋をつけることだと思っています。

末川 「助け合いの会」は有償ボランティアですが、活動が始まって一五年になりました。最近が高齢者の方だけではなく、若いお母さんの子育て支援の課題も出てきて、活動の幅が広がっています。それに、介護保険制度が始まったこともあって、一昨年から事業活動として始めたホーム

ヘルプサービスの利用も順調に伸びています。

主に食を扱う生協としては、高齢者の食の分野でどのような役立ちができるのかも課題ですね。配食サービスも、ボランティアとしては可能でも事業としては成り立ちにくい。「生協らしさ」と「事業経営」を両立させるべく、そのはざまで試行錯誤しています。

末川 男性も女性もともに参画する社会をめざし、九九年には男女共同参画基本法もできましたが、働く女性の先達として、一連の動きをどのようにごらんになりますか。

南 まず、この基本法ができるまでの先人の努力や歴史を若い人たちに知ってほしいですね。以前、文化財関係の仕事を担当していたときに、京都の古い絵図などを見る機会がありました。中世の京のまちに働く女性の姿がたくさん描かれていました。やはり歴史は男性と女性がともにつくってきたと思います。戦後ようやく女性が選挙権を得て、

羽織を着て投票所に行ったと母などは話しておりました。そういう歴史の積み重ねのうえにできた法律なんです。

それに、これはあくまでも基本法ですから、これから具体化しなければならぬ課題はたくさんあります。たとえば女性の自立を阻みかねない「年収一三〇万円の壁」などの世帯単位の税制や年金制度は議論の余地が多くあります。個人単位の制度に変えようという議論はされておりますが、まだ目に見える変化には至っていません。

いずれにせよ、専業主婦と働く女性を対立させるかたち

の議論や、単に女性だけの問題としてではなく、男性も女性も一人ひとりが人権を尊重され、豊かな人生を過ごすことができるような方向で、問題を整理していく必要があるでしょうね。

末川 主婦の組合員が多かった生協も、さまざまな変革を迫られています。組合員の世帯単位加入もそのひとつで、生協法との関係もあります。個人加入という考え方が必要になってくると思っています。



21世紀に
はばたく
京都の生協

まず一歩踏み出すこと、積み重ねること そして、だれもが参加できる生協に

南 私からぜひお願いしたいのは、女性幹部職員の登用ですね。資料を拝見すると、生協の経営中枢部はほとんど男性で占められています。いまの若い女性は男性と同じように勉強してきているし、行動力もあります。営業や経営に女性が多く参画されることにより、生活に密着した品ぞろえの発想が展開できたり、もつと違うかたちの可能性が開けるのではないのでしょうか。

す。やはり積極的・計画的なプログラムを組む必要がありますね。

南 そうですね。そういうアクションプランが必要だと思います。私が働いてきた京都府庁でも二〇年程前から意識的に女性登用がすすめられてきました。「職が人を育てる」といいますが、確実に女性が育ってきています。いままではずっと男性の目線で社会が動いてきたので、男性はそれほど不便でなく、変える必要もあまり感じないのかもしれませんが、そのこと自体おかしいことだと気づいてほしいですね。

末川 まず具体的な場面で気がつくこと、気がついたら意見を出すことですね。私も最近、新商品のネーミングに「お母さんのおいしい〇〇」という案が出る場面に直面したのですが、「この名前には社会的に問題がある」ということが共通認識になるまでにとっても時間がかかりました。母親や妻として家族の健康や食を一生懸命考えてきた組合員が多いですし、それ自体を否定するものではありませんが、いまの社会的な流れとして「お母さんでない女性もいるし、お母さんにならないければいけないわけでもない。お父さんも料理をしてください。レトルトなら子どもでもできますよ」ということなんです。そういう意見を粘り

強く発信することによって、わずかですが動いたように思っています。

南 そういう積み重ねのなかで、若い人たちの意識は確実に変わってきていますよ。私の周囲の若い方々の家庭では家事や子育てを二人で分担しながらやっている人達が多くなってきていますね。それを拝見しているのととてもうれしく思います。二一世紀は男女が共同で「一人ひとりがいきいきと暮らせる社会」が実現できるのではないかと大きな望みを持っています。

末川 一緒に働き、一緒に子育てをして、地域社会にも参加していく家庭が増えてほしいし、生協はそんな人たちの暮らしを支える事業を展開したい。そして、若い人も男性も高齢者のだれでも参加できる生協になるよう、みんな

ネットワーク・ナウ
Network!
対談 **Now**

自分らしく生き、輝き、支えあうために。

末川 そういうことに生協が気づくのはずいぶん遅くて、日生協に女性評議会という組織をつくり「生協の意思決定の場における女性の参画の現状と今後の方向について」という諮問を出したのは九一年です。七五年の国際女性年からおくれること実に一年です。その後、少しずつ問題として認識されつつありますが、ご指摘のように、現状では経営執行部に占める女性の割合はきわめて少なく、女性職員の計画的な育成や幹部への登用が意識され始めたのはここ数年ではないかと思いま

南 恵美子

みなみ・えみこ
1960年5月 福岡県事務吏員
1963年4月 京都府事務吏員
1974年6月 京都府消費生活相談所長
1985年4月 府職員研修所長
1989年4月 府商工部次長
1990年6月 府福祉部長
1994年6月 府総合府民部長
1995年4月 京都府文化財保護基金理事長
1997年7月 総理府社会保険制度審議会委員
1999年4月 京都府総合見本市会館専務理事



末川 千穂子

すえかわ・ちおこ
1986年5月 京都生協理事に就任
1991年5月 京都生協副理事長に就任
1996年5月 京都生協理事長に就任
現在 京都府生協連副会長



考えていきたいと思っています。今後ともどうかよろしくお願ひいたします。

京都府民の「食の安全」の 願いを国会へ 署名送達式

紹介議員になっていただいた方々

- ・自由民主党 菱田嘉明議員
- ・民主党 前原誠司議員
- ・日本共産党 穀田恵二議員

「食品の安全を確保する
請願署名」
46万筆、国会へ送る

三月六日におこなわれた送達式は、吉田京都府生協連会長理事から「今回の運動が京都の生協・各協同組合、諸団体との共同行動で府民的运动としての取り組みができた、署名用紙には多くの願いが詰まっている」、京都府農業協同組合中央会十川参事からは「食の安全を求める願いは生産者、消費者も一緒であること、ともに力を合わせ取り組みができた、京都JAにおいても安心・安全な農産物を作り、農業の振興を図りたい」等の挨拶の後、京都府農協女性部組織協議会、京都府森林組合連合会、京都労働者福祉協議会の出席者が紹介され、京都府漁業協同組合連合会のメッセージが紹介されました。京都府生協連小峰食の安全推進本

品の安全を確保するための請願署名」
454,120筆を
署名送達式



部長が「この二年間の運動は京都の生協では史上最高の取り組みになった、各協同組合、京都労働者福祉協議会や多くの諸団体との共同の力を集め府民的运动になった」と報告。今後の国会での働きかけなどについて、日生協関西地連川村事務局長が各政党の考え、紹介議員の全国状況等について報告。京都府生協連尾松事務局長より、国会への提出にあたり、昨年二月からの京都での紹介議員の要請の取り組みについて報告しました。京都選出の全党派に要請し、自由民主党、民主党、日本共産党、公明党との懇談内容等について報告されました。

署名数 465,620筆 (3月20日現在)

生協名	署名数	生協名	署名数
京都生協	384,338	池坊学園	8
エル・コープ	15	京都経短大	12
京大	7,422	大学生協事業連合	122
同志社	290	府庁	1,762
立命館	461	京都医療	1,527
龍谷大	17	乙訓医療	96
府・医大	210	やましろ医療	232
京都工繊大	25	全労済	10,136
京都教育大	39	京都労働者住宅	103
京都橘女子	129	その他	219
小計	392,946	小計	14,217
		会員生協計	407,163
共同団体	署名数	その他団体	署名数
JA京都中央会	50,241	京都民医連	419
京都府漁連	2,152	共作連	1,400
京都府森連	744	消団連	5,133
小計	53,137	小計	6,952
		総合計	465,620



自由民主党 菱田嘉明議員
秘書 奥田俊治さんへ



民主党 前原誠司議員
秘書 中小路健吾さんへ



日本共産党 穀田恵二議員
秘書 林信一さんへ

「食の安全」を求める 社会的しくみを求めて

「食品の安全を確保するための国会請願署名」四六五、六二〇筆寄せられる！

—全国では一三三〇万筆超える

日本の生協あげて

史上最高の取り組みに

—私たちがめざしたもの

広く消費者や生協組合員の要求のなかで、「食品の安全確保」はもっとも基本的なものです。

「食品の安全確保」という場合、これまで問題にされてきた食品添加物や農薬の残留問題などに加え、遺伝子組み換え食品、環境ホルモンなど、従来想定されてこなかったような問題が数多く生じています。これらの問題の解決のためには、個々人の努力や、生協自身の努力だけでは、防ぐことができなくなってきたおり「食品の安全確保」のための、社会的システムづくりが不可欠です。そのためには食品安全確保のための根拠法になる食品衛生法の改正をめざすことが必要です。

今回の運動は、日本生協連が、全国の生協がこれまで取り組んできた食品安全行政の確立強化を求める運動をふまえながら、全国の生協の力を結集し、さらに協同組合関係者や多くの消費者団体などの協力をえて、食品衛生法の抜本的改正を求める運動を提起したことからじまったものです。

京都の府民的運動として

京都府生協連では、一九九九年六月開催の四六回総会において、特別決議「食の安全を守る運動をすすめるよう」を採択し、学習・調査活動を行い、運動の準備をすすめてきました。

さらに、日本生協連の署名運動の目標が一〇〇万人署名と設定されるなかで、二〇〇〇年六月開催の四七回総会において、あらためて「京都の生協の力をあわせ、食品衛生法の抜本的改正を求める署名に取り組みましょう——五〇万人署名を達成させるための特別決議」を採択しました。

運動はすべての生協の取り組みにするとともに、京都の府民的な運動として協同組合関係者など多くの団体との共同の運動を進め、運動推進のために推進本部を設置し進めてきました。

推進本部は、会員の取り組み状況を集約・交流するとともに、他団体との協力関係づくりや対外的なたきかけなどについて連絡調整しながら、運動推進にあたってきました。

《会員生協では》

京都生協では、九九年度は学習を先行させ、二〇〇〇年度の通常総代会を機に署名運動をスタートさせました。組合員の要求と署名項目や取り組みの内容がピットリと一致し、「願いを実現させたい」という思いと、他の組合員にも知らせたい気持ちで学習を深め、わかりやすく知らせるために紙芝居や腹話術など、工夫ある取り組みをおこないました。三八、三四三二筆寄せられ史上最高の運動にひろがりました。また、地域では、「食品の安全を確保するための意見書」を国に提出するよう自治体への要請行動を行いました。

大学生協でも、京大生協が「食の安全と健康」をテーマに、学習を中心に「知らせる」ことを重視した取り組みを行い、全国的にも大きな成果と運動を広げました。

医療生協では、京都医療生協が、学習会やゼミナールで「食と健康」をテーマに取り組み、署名の取り組みを行いました。

全労済は、学習会や、催しものなどの機会に署名を行い、協力団体などにも働きかけを行い、大きな成果を上げました。



加茂町難波議長へ提出

共同の運動として広がり、 府民的運動に

今回の運動では、協同組合関係者の共同の運動を実現するために協議が重ねられ、京都府農業協同組合中央会会長、京都府農協女性部組織協議会会長、京都府森林組合連合会会長、京都府生活協同組合連合会会長の連名による署名用紙が作られ（京都府漁業協同組合連合会が協力団体）、この共同の署名用紙にもとづく運動がJA、森林組合、漁協、生協で共同で取り組まれました。この共同の取り組みは、全国的にも注目されました。

京都労働者福祉協議会では、今回の運動に賛同していただき、理事会の確認をふまえ、全労済の署名運動への協力、地方議会への意見書提出要請請願活動を展開していただきました。

京都消費者団体連絡協議会等も九月の京都消費者大会で「食の安全」のテーマでの運動交流を行うとともに、独自に署名用紙を作成し、五一三三筆の署名を集めました。

共作連、京都民主医療機関連合会など多くの団体にも協力をいただくことができました。



京田辺市中川議長へ提出

21世紀に はばたく 京都の生協

国会への提出にあたり「紹介議員」には、自民
党・菱田嘉明衆議院議員、民主党・前原誠司衆議

院議員、共産党・穀田恵二衆議院議員に承
諾していただき、わたしたちの願いを託し
ました。

行政関係者・各政党会派の
皆さんにご理解をいただく

京都府保健福祉部長、同生活衛生課長と懇談

(八月一四日)し、趣旨のご理解をお願いした。ま

た、国会議員への要請、懇談会の開催、地方議会

の意見書採択要請などを通じて、各政党関係者との

懇談の場がもたれるなど、請願内容の理解をし

ていただく活動が、かつてない規模と広がりをも

つてすすめられました。



民主党前原議員に要請



3月7日、国会議員への要請活動

意見書を採択した議会

京都府議会

(市議会)

京都市

亀岡市、長岡京市、向日市、

舞鶴市、宮津市、綾部市、

宇治市、城陽市、八幡市、

京田辺市

(町村議会)

木津町、井手町、南山城村

京都府議会、京都市議会 など一五自治体で、 国への「意見書」採択

意見書採択は、昨年一二月に採択された、
京都市、南山城村につづき、京都府をはじめ
め府内自治体の三月議会で国への「意見書」
が採択されました。

京都府議会、国へ意見書提出

～全会派一致で採択～

京都府議会3月28日本会議において採択された意見書

食品の安全確保に関する意見書

近年、食品添加物問題や農薬・動物用医薬品の残留問題等に加えて、O-157、ダイオキシン、環境ホルモンの問題、あるいは遺伝子組み換え食品など新しい科学技術によって生産された食品の問題など、食品の安全性に対する消費者の関心が高まっている。

また、食品流通の国際化に伴い、世界各国からの食品輸入が年々増加する中、それらの食品の安全性確保に対する不安も広がっているところである。

このような中で、個人の努力や選択だけでは食品の安全性を確保することはできず、根拠法である食品衛生法の改正や食品安全行政の充実強化など、食品の安全確保を実現するための社会的なしくみの整備が必要である。

よって、国におかれては、次の措置を講じられるよう強く要望する。

- 1 食品衛生法について、消費者の視点を組み入れた法改正や運用の充実を図ること。

- 2 食品の安全行政に関する施策について、積極的に情報公開を行うこと。
- 3 すべての食品添加物の指定制度への移行を計画的に進めること。
- 4 農薬・動物用医薬品の残留基準の設定を計画的に進めること。
- 5 化学物質や新技術にかかわる食品・包装容器の新たな不安や問題に対処した予防的な調査・研究の充実、検査体制の充実など、法制度の運用を強化すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成13年3月28日

衆議院議長 綿貫 民輔 殿
参議院議長 井上 裕 殿

内閣総理大臣 森 喜朗 殿
総務大臣 片山虎之助 殿
厚生労働大臣 坂口 力 殿
農林水産大臣 谷津 義男 殿

京都府議会議長 小牧誠一郎



■21世紀 京都の生協は

わたしたちは、21世紀が激動と変化の時代であるだけに、世界の協同組合運動のなかで確かめられてきた協同組合の価値や原則にたちもどる必要があります。

すなわち、生協が「共同で所有し民主的に管理する事業体を通じ、共通の経済的・社会的・文化的ニーズと願いを満たすために自発的に手を結んだ人々の自治的な組織」であることをあらためて確認し、「自助、自己責任、民主主義、平等、公正、そして連帯の価値」を基礎にしながら、「誠実、公開、社会的責任、そして他人への配慮という倫理的価値」を日々の活動のなかで体现し、よりいっそう「生協らしさ」を発揮するようにしなければなりません。

わたしたちは、21世紀、京都の生協が、組合員の願いや地域社会からの期待にこたえ、協同の輪をひろげ、人間らしく健康で生き生きとしたくらしの創造や地域社会の発展に貢献することをめざし、〈京都の生協の5つの課題〉と〈京都府生協連の3つの役割〉を確認し、その実現のために努力します。

〈京都の生協の5つの課題〉

21世紀 京都の生協は

1. 組合員の願いを大切にし、「私の生協」と実感でき、くらしに役立つ商品と事業の実現をめざします。
2. 食の安全と健康づくり、福祉の充実とくらしの安心、地球環境保全や食糧問題、平和・核兵器廃絶、男女共同参画の推進のために努力します。
3. 地域社会の一員として、生産と消費の連携、協同組合間協同をつよめ、地域経済の再生・創造、まちづくり、地域コミュニティの構築に貢献します。
4. 21世紀、京都の生協が存続・成長するために、組合員とともに、組合員参加の組織風土の実現と、安定した経営基盤の確立をめざします。
5. あらたな生協づくりの可能性を追求し、学園に、地域に、協同の輪をひろげます。

〈京都府生協連の3つの役割〉

京都府生協連は

1. 会員生協の共同の場にふさわしく、お互いに学びあい、はげましあえる交流と、共通課題意識のもとに、共同の行動をつよめます。
2. 組合員の願いを基礎に、あらたなくらしと生活価値の創造にむかって努力する会員生協をサポートします。
3. 京都の生協を代表して、自治体行政への参画、すべての政党（国会議員、地方議員）との対話・協議、各種協同組合や地域諸団体との連携をつよめます。

御感想・御意見をお寄せ下さい。

FAX : 075-251-1555
メールアドレス : K.yotofu.Seikyoren@ma2.seikyoku.ne.jp

21世紀ビジョン



京都府生協連は、このほど「21世紀、京都の生協がめざすもの」(案)をまとめました。広くご意見をいただき、6月の第48回通常総会で決定することになっています。

21世紀 京都の生協がめざすもの〈案〉

■21世紀をむかえて

21世紀をむかえました。この21世紀、高齢社会の進行と少子社会の到来、「IT革命」といわれる情報化やネットワーク技術の革新、グローバル化の進展などにより、日本の社会システムは正確な予測が困難なほど急速に変化することが予想されます。年齢別人口構成の変化や家族構成の変化、社会保障制度や税制、賃金・雇用制度の変化などは、ひとりひとりのくらしや価値観、ライフスタイルに大きな影響を与えています。

経済活動は国境のない時代をむかえています。現地生産や製品輸入、輸入農産物の増加などが目立っています。また、金融・保険から流通分野まで、外資系企業の動きは活発で、これまでとは規模や質の違う激しい競合・競争が予想されます。

和装業界等の伝統的な産業分野の不振をはじめ、京都の地域経済の落ち込みは全国的にもとくにきびしいとされるなかで、地域経済の再生・創造の課題が格別重要になっています。

情報化やグローバル化がすすむ一方で、学生数が増加期から減少期に転ずるなかで、国立大学の独立行政法人化の動き、一部私学での入学者確保難など、大学の変化が急速にすすんでいます。「大学のまち・京都」にとっては重要な問題です。

深刻化する地球環境問題や食糧・エネルギー問題、飢餓と貧困、平和・核兵器廃絶の課題など、多くの課題を地球的視野にたって解決しなければなりません。

■21世紀をこんな時代に

阪神淡路大震災以来のボランティア活動や「くらしの助け合い」活動などの「共助」の活動、NGOやNPOの活動など、この間に芽生えた市民の協同の力は、あたらしい時代をきりひらく力になるものと注目されています。

わたしたちは、この21世紀を、これまで以上に、多くの人々と力をあわせ、

- 1) 人間らしく健康で生き生きとしたくらしの創造に、市民の協同の力が発揮される時代
- 2) 京都の地域経済が再生・創造され、地域社会に活力がみなぎる時代
- 3) 人間と自然が共生し、持続的発展可能な社会にむかう時代
- 4) 核兵器も戦争もない平和な世界に生きることを喜びあえる時代

にするために努力しなければなりません。





医療生協中野眼科本院

組合員とともに

最新の眼科医療をめざして

**安全安心を基本に
目の健康を優先して**

京都医療生協は、現在京都市内に「中野眼科」で知られる眼科診療所を四カ所開設しています。生協設立から五〇年という歳月を過ぎましたが、その歴史は眼科医であり、現理事長の中野信夫を中心に、最新の眼科医療をめざしてきたと言えます。

設立間もない一九五六年にはコンタクトレンズの研究・処方を開始し、安心安全を基本に目の健康を優先する処方、今日まで多くの患者さんの信頼を得ています。コンタクトレンズの長期装用者に角膜内皮細胞の減少という異常が発見され話題になった時には、京都で最も早い時期に検査機（スペキュラーマイクロスコープ）を導入しました。

高齢者の眼科医療でも、白内障手術を二〇年以上も前から日帰りで行っています。白内障手術は、日本では現在でも入院治療のところが多くないのです。日帰りの手術は、高齢者や家族に対する負担が少なく、たいへん喜ばれています。手術は十分程度の短時間で終わり、術後三十分ほど安静にすれば帰宅することが出来ます。

レーザー近視手術を開始

レーザー近視矯正手術は、レーシックという手術方法が登場してから、世界各国で急速に普及してきました。プロゴルファーのタイガー・ウッズやプロ野球の松坂大輔投手などが受けて、マスコミでも話題になっています。アメリカでは一九九〇年の一年間で一〇〇万

件弱の手術が行われ、二〇〇〇年には一五〇万件になると予想されています。日本では、近視矯正用のレーザーを、昨年厚生省が承認し、これから本格的に普及すると考えられます。

京都医療生協では、今年の二月からレーザー近視手術を始めています。導入するに当たっては、慎重な検討や調査を行いました。眼科医療ではまだ新しい分野であり、経費や体制面での考慮も必要なことでした。

しかし、組合員、患者さんにとっては、メガネやコンタクトレンズに加え「第三の選択肢」が得られるということ、京都医療生協にとっても「診療内容は常に最高の水準をめざします」とした二〇〇〇年度事業計画の実践をすすめることになるということで、役職員の思いは一致し、導入することになったのです。

レーザー近視矯正手術は、健康保険が適用されない治療です。また「悪いところ」を手術するものでもありません。ですから、インフォームド・コンセントや「患者の権利」を



レーザー近視矯正手術技術研修



レーザー近視矯正手術装置

大切に、十分な情報提供（デメリットを含め）と、患者さんの理解と納得に基づいて手術を行っています。開始してからまだ日が浅く、手術例も少ないですが、「手術を受けて本当に良かった」との感想もいただいています。こうした声を励みに、京都医療生協ではさらなる医療内容の向上をめざしています。

京都医療生協



学生の交流・成長の場とするために

関西学園研究都市の一角、京田辺市三山木の丘陵地帯に広がる同志社大学・同志社女子大の京田辺キャンパス。その中に同志社女子大学生食堂、カフェテリアが新たに誕生しました。同志社女子大一二五周年記念事業の一環として、二〇〇〇年九月

に学生・卒業生のつどい、交流・憩い・コミュニケーションの場として四階建の友和館が完成。正面上には時計台をもったレンガの美しい建物。この中に四つの生協施設が誕生しました。二階には書籍、三階にはレストランとキャンパスストア、四階にはカフェテリア等の福祉厚生施設。三階、四階は今までの「学生食堂」のイメージを一新。

どこかのホテル、レストランにいるような雰囲気

三階のレストランは四五〇席のスペース、高い天井、淡いクリーム色の壁、正面にはオレンジのステンドグラスが輝き、まるで教会の講堂にいるような感じ。四階のカフェテリアにはメニ

ューとしてドリンク類、ケーキ類、軽食が揃えられ、北欧製の机、椅子がゆったりと一五二席用意されています。ポーチがあり、北側一面、眼下に広がる南山城平野、木津川、遠く伏見まで一望できるパノラマ。各入口には、ワイドで清潔な手洗い・化粧コーナーが設けられ、一歩入ると、ショーケース棚に主要メニューの商品、価格、カロリーのディスプレイされています。組合員の声を聴き、女子学生の一人一人の個性(量、味)を大切にしたい、メニューは一〇〇程度、特に、八〇円の小皿メニューを六〇〜八〇アイテム用意。今の人気メニューは地鶏モモ肉をベースにした竜田揚げに甘辛いソースをかけたもの。サラダバーは季節のフレッシュ野菜が並べられ、g二円です。

一食三〇〇円で満足していただける品揃えと

店長の新井さんは「一食三〇〇円で満足していただけるよう品揃えの工夫をしている」、「大学が世界に羽ばたく一流の女子学生の育成をめざし、友和館がそのコミュニケーションの中核として機能している中で、生協も大学の期待にこたえ、一流の事業内容にしたい。協同組合として組合員の成長の場として、組合員に喜ばれる事業を目指したい」との抱負を述べていました。

大学の期待にこたえて



友和館

教会にしているようなレストラン

同志社生協・同志社女子大学



京都府とJAグループ、漁連、森連など府内一一の農林漁業団体で構成する京都府農林漁業普及啓発連絡会議（後援、京都府生協連、ふるさと産品協会）は二月二十四日、京都市上京区のKBSホールで府民六七〇人の参加のもと、「食料・農林漁業・環境フォーラム二〇〇一」を開きました。

今年のテーマは、地元の農産物を地元で食べる「地産地消」と「農林漁業の果たす多面的機能」で、これを京都府内に広げることがアピールする場となりました。

フォーラムでは、今井通子さん（登山家・医学博士）から「守りた

地産地消の運動を

食料・農林漁業・環境
フォーラム 2001



い緑・土・水」と題する基調講演があり、JA、生協、市場の代表者らが、京野菜の栽培が伸びる中、地産地消を進める方法などについて、パネルディスカッションが行われました。

パネルディスカッションでは京都生協の小林智子副理事長が、身近な農産物を食べることが安全面だけでなく、環境も守ると指摘。「地元の生産者と交流を重ねることで、農産物への信頼や安心感が得られる」と発言。

京都府農林水産部の栗山正隆部長は「地産地消を進めることが食料の自給率を身近に考える機会になる」と強調。京都市中央卸売市場協会の内田昌一会長も、「輸入農産物が増えていくが、京都産を優先して産地を守りたい」と述べていました。

また、JA京都中央会の中川泰宏会長は「地産地消は消費者の理解が不可欠。JAが生産者と消費者をつなげる場を作りたい。農産物は①産地を見て②外見ではなく中身で買う③買ったらず食べきる」ことが大事と訴えました。

京都のお菓子を 紹介したい

府菓子工業組合との懇談会

京都の菓子業界について教えていただき、今後の京都の生協とおつきあいや地場商品の取り組みをふやしていくと、三月二十三日、京都府中小企業会館会議室で開かれました。

菓子工業組合からは京都府菓子工業組合代表理事・和菓子部会・京都府菓子技術専門学校校長・坂井正品さん、和菓子部会・水内喜廣さん、焼菓子部会・小林寛次さん、洋菓子部会・西村栄さん、専務理事・煎餅部会・水口勇誠さん、生菓子部会・将野義雄さん、丹波菓子協会・柴田賢策さんらが参加。

生協からは京都府生協連吉田会長、尾松事務局、京都生協山本常務理事、飯村カタログ専門供給部マネージャー、吉田ギフト担当商務、尾川商品部次長らが参加しました。

京都府生協連吉田会長、京都府菓子工業組合坂井代表理事から挨拶。山本常務理事より「京都生協の全体事業活動について、飯村マネージャーより「ギフト事業、菓子関係の取り組み紹介と京都の和、洋、豆生などの菓子業界（業者）とおつきあいの現状」について報告。菓子協同組合の各部会より「京都の各菓子組合の状況」についてお話をいただき生協への質問や意見

が出され懇談を深めました。

意見交換では、「生協の添加物はどんな基準なのか」「菓子の場合、見栄えや色も大事だ、添加物を使用しないと作れないものもある」「商品の発注・納品のリードタイムはどうしているのか」「コープ商品でオリジナルに育てた商品にはどんなものがあるのか」「今の取引先はどんなきつかけではじまったのか」「中元や歳暮の時期はどこも忙しい、

普段の取引を考えるとほしい」「原価、売価、輸送料・物流費など条件はどのようにしているのか」等多岐にわたる意見交換がおこなわれました。

今後組合として部会に持ち帰り「ビジネスチャンス」として会員に報告したい。説明会なども対応してほしい等の意見がだされました。

最後に、京都生協山本常務が「組合員の暮らしを守り、京都の地域社会や経済にお役に立てる生協としてがんばりたい」等のお礼の挨拶を述べ閉会しました。



輸入食品の 安全性の チェックは

月曜会との懇談会

京都のマスコミ関係者の皆さんに京都の生協活動について報告し、ご意見をいただく場として、コープイン京都で開かれました。

参加者は、NHK京都放送局／山本壮太、京都新聞社／斎藤修、川那部泰岳、KBS京都放送／黒田清喜、共同通信社京都支局／八木稔、産経新聞社京都総局／富永一、時事通信社京都総局／荒木千明、中日新聞社京都支局／久保康雄、日刊工業新聞社京都支局／中田正、日本経済新聞社京都支局／鈴木豊之、毎日新聞社京都支局／相野田虹二（但し、朝日新聞、KBS京都放送、読売新聞、日本工業新聞は欠席）

開会にあたり、吉田京都府生協連会長理事、月曜会幹事の富永産経新聞社京都総局長より挨拶。最初にNHK京都放送局放送局長 山本壮太さんより「NHK BSデジタル放送などの動きについて」報告をいただきました。生協より、「京都の生協概況と食の安全を確保する取り組みについて」、「商品開発と商品輸入食品の拡大や食の安全への不安が高まっている中で、生協はどのような政策を持って商品開発や商品活動を強めているか」、「大学生のくらしの実態調査について」、「京都の医療生協の活動について」紹介しました。



意見交換では、「輸入食品の取り扱いと、安全性のチェックはどうしているのか」、「大学生協のデーターは公開してもいいのか」、「遺伝子組み換え食品、外国産農産物などに対してナーバスになっているのではなか」といった情報もいるのではないかと「工業製品の安全性などのチェックは生協ではどうしているのか」等多岐にわたって質問が出され、意見交換がおこなわれました。

最後に末川京都府生協連副会長理事が、お礼の挨拶をのべ閉会しました。



男女共同 参画社会へ

JA女性協と懇談会

二月二日「氷室の郷」（八木町）でJA女性協との懇談会が開かれました。

京都府生協連から女性役員職員一人、JA京都女性協から一三人、来賓としてJA中央会中川泰宏会長、八木町廣瀬傳次参事らが参加。

渡辺有会長、末川千穂子副会長理事から挨拶があり、来賓として中川泰宏、JA京都中央会会長も出席、懇談では京都府民労働部女性政策課課長補佐、推進係長川村しげるさんから「男女共同参画社会づくりと女性参画」について報告。



そば打ち体験

意見交換では「消費者にとって、関心の高いものの一つに食べ物の安全性がありますが、生産の立場として、安全・安心な農産物づくりについて、どんなことを心がけていますか」「女性の地位向上においては、各方面で取り組みがすすめられており、女性部としても活動方針の中にいれているが、現実にはなかなか進展しない」と農家の女性の地位向上について意見がだされました。女性政策室川村しげるさんからは、男女共同参画基本法について報告されました。また、「JA女性協と京都府生協連が組織の枠を越えて交流しているということに驚くとともに、非常に良いことである」と激励の言葉。

加工体験ではそれぞれが、ソーセイジづくり、パンづくり、そば打ち体験と分かれて約一時間程度、加工指導してもらい、出来上がった作品を昼食として試食し親睦を深めました。



GOOP TOPICS

京都府森林組合連合会 京都木材加工センター

京都府森林組合連合会は綾部市鍛冶屋町内に「京都木材加工センター」をつくり、本年1月から操業をはじめた。

このセンターは、間伐材を中心とした京都府内の木材を加工、流通して府内産材の安定供給と市場性を高め、府内の林業・木材産業の発展と、間伐を進めて森林を整備することを目的としている。

集積された間伐材を丸棒（円柱）加工や腐敗処理加工を行い、京都府内の公共工事の土木資材をはじめ建築・公園工事など自然にやさしい木製品として供給をはじめた。



間伐材を加工し、防護柵や砂防などに利用されている

ホームページアドレス

<http://www.kyoto-shinrin.or.jp>

京都の漁業・漁村を紹介

ホームページを開設

京都府漁業協同組合連合会は、インターネットを通じ京都の漁業などについて多くの皆さんに知っていただくために、去る1月16日よりホームページを開設した。

内容は、京都で行われている漁法や漁業、府内沿海の各漁村の横顔、蒼く豊かな海を守るために取り組まれている資源管理・海洋環境保全へ向けた取り組み、さらには、舞鶴市場における毎日の漁模様（速報値）を紹介している。

ホームページアドレス

<http://www.kyotofugyoren.or.jp>

welcome
京漁連のホームページ

ようこそ京都府漁業のホームページへ。京都の漁業・漁村の情報をみなさんにお届けします。

京都府漁業協同組合連合会
〒624-8914 京都府舞鶴市下安久井番地
TEL 0773-770202（総務部指導課） FAX 0773-760557
E-MAIL 240000@kyotofugyoren.or.jp

きれいな海に豊かな資源。守り育てて、明るい未来。

あなたは2001年1月16日から数えて01616番目の訪問者です！

海づくり大会

第20回全国豊かな海づくり大会アマダイ・マダイ等の
産地を顕彰される両陛下

Tan-bou

探訪